

5月6日(金)オープン!

市役所新庁舎の“柱”となる、建設にあたっての5つの基本コンセプトをシリーズで紹介します。今回は3回目。

新庁舎建設室 ☎(866)8915

## 環境共生へ取り組む地球にやさしい庁舎

「環境立市あきた」の実現に向け、太陽光・地中熱の利用や自然採光、通風など、自然のエネルギーを積極的に活用しています。

情報

プラス

### ① 安心して下さい…

トプライトのガラスは、厚さ約4浬の複層ガラス。広報あきた約50冊分の厚さがある、衝撃に強く安全性が高いガラスです。ご安心を。



格子に秋田杉を使用

### ② 雨水をトイレの洗浄水に利用

新庁舎では建物の屋根に降った雨水を地下に貯めて、トイレの洗浄水として利用します。これにより水道使用量を削減できるほか、災害が発生し万が一水道が使用できなくなった場合でも、トイレが使えるよう配慮しています。



シリーズ

# 新庁舎 Coming Soon

まもなぐ!

## 太陽光と地中熱を利用

新庁舎屋上には、太陽光発電設備(写真右上)を約72kw設置しています。また、一年を通して温度が一定な地中熱を利用するため、地下約100cmまで配管(写真右下)を埋め込み、夏は冷房、冬は暖房や融雪に活用します。

## BEMSによるエネルギーの最適化

BEMSは、建物の使用エネルギーや室内環境に関する情報を一元的に管理し、省エネルギーに役立てるシステムのこと。新庁舎では、使用エネルギーをリアルタイムで確認し、自動的に最も省エネルギーな運転制御を行います。

**吹き抜けによる自然採光と通風** 1階にある「市民の座」は、天井までの吹き抜けです。庁舎中央にトプライト(天窗・左写真)を設けることで、自然光を取り入れるとともに、温度差を感知して自然開閉する窓で風の通りを確保します。

